

周辺の地すべり地形等分布調査結果

西脇地区周辺の地すべり地形等分布図を図 1.1 に、拡大版を図 1.3 に示す（出典 土砂災害危険箇所：紀の川市ハザードマップ，地すべり分布図：防災科学技術研究所地すべり地形分布図）。この分布図によると、斜面崩落箇所周辺には地すべり危険箇所、急傾斜地危険箇所が分布しているが、斜面崩落箇所は地すべり等の危険箇所には該当していない。さらにその上方斜面は尾根谷が入り組んだ複雑な地形を呈するが、大局的には標高約 600m の南北に連なる稜線まで連続する斜面である（図 1.2 広域縦断面図）。西脇地区が位置する標高 100m 付近には、ため池が点在している。

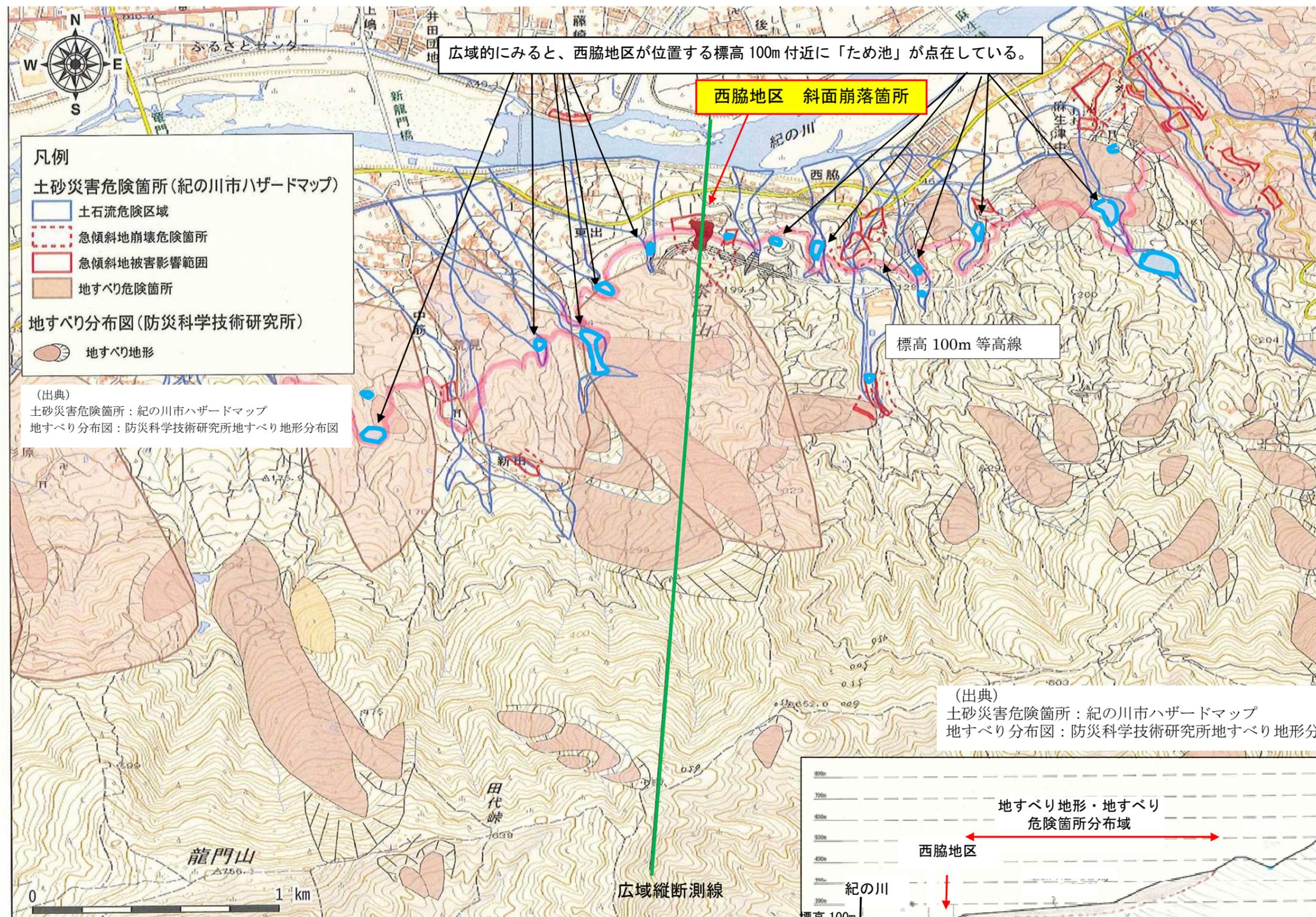


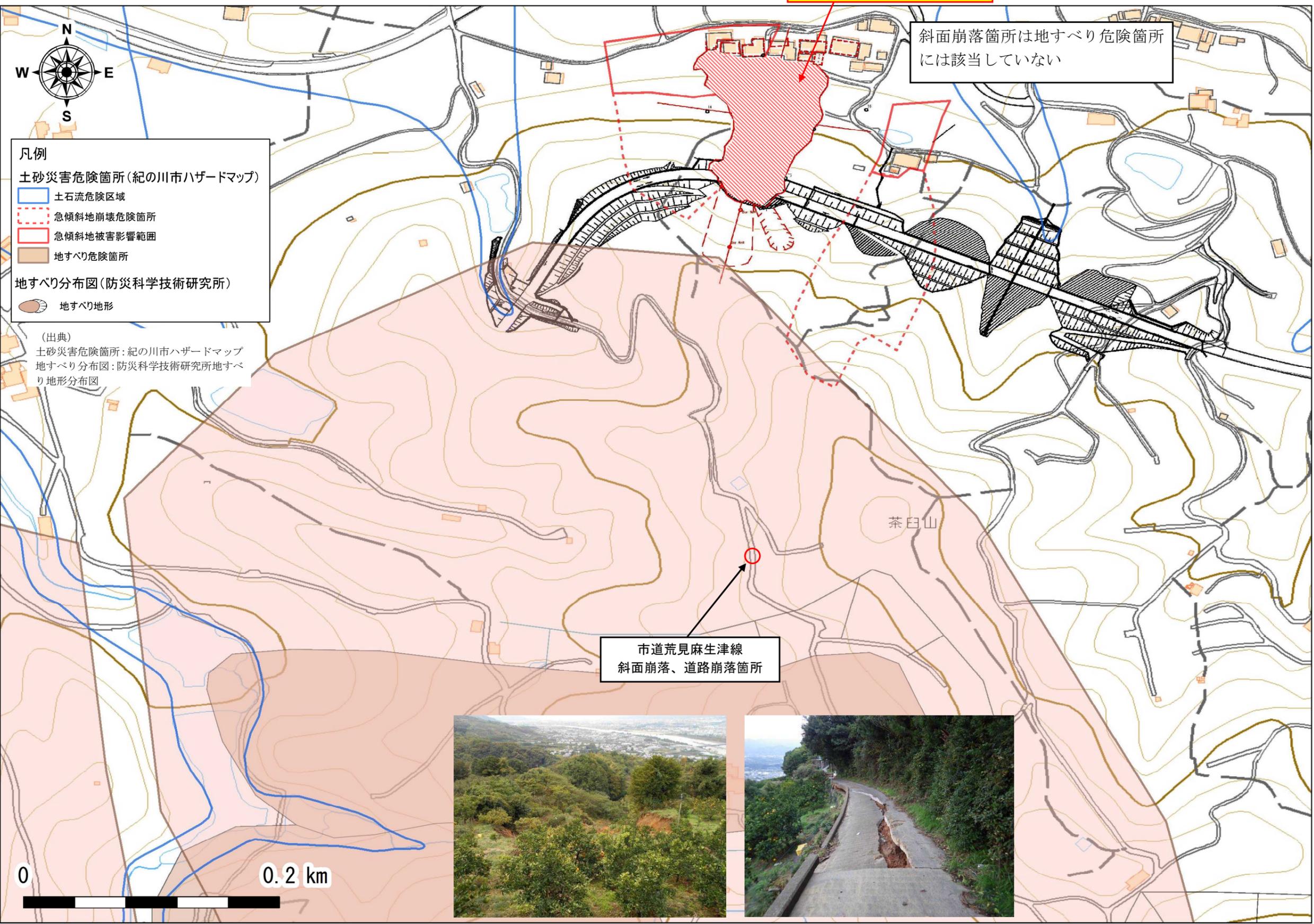
図 1.1 西脇地区周辺地すべり地形等分布図



図 1.2 西脇地区周辺広域縦断面図

西脇地区 斜面崩落箇所

斜面崩落箇所は地すべり危険箇所には該当していない



市道荒見麻生津線
斜面崩落、道路崩落箇所



図 1.3 西脇地区周辺地すべり地形等分布図（拡大版）